

あしっ 育成だより 10

立教 182 年 4 月 16 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①わかぎの集い

②春の学生おちばがえり / 少年会総会

《親のことば》

育とうという意欲をもって

皆さんの身体つきは、既に立派な大人であります。一方、心の方は今が育ち盛りでありましょう。年齢と共に、自然に成長する身体に対して、心の成長は自分の意欲が大きく影響するでしょう。自分に育とうという意欲があるか無いかということは、何事をなすにも重要な点であります、何もかも親の言う通りにしていた子供の時期を脱し、自分の考えに従って行動できるまでに成長した今だからこそ、自分の心の成人を意識して、育ってほしいと思うのであります。

(立教 178 年「春の学生おちばがえり」における真柱様お言葉より)



①わかぎの集い

お道を通る 仲間を増やそう



春の若年層育成期間「あしつスプリングフェスタ」。

その中で「わかぎの集い」は、中学生を対象に、道の喜びを味わい、同じ道を通る芦津の仲間づくりを目指して開催しています。

3月29日午後から31日朝までの2泊3日の集いの中で、中学生たちは何を感じ、どんなことを学んだのでしょうか。わかぎと、直接お世話取りをした「Jr. スタッフ（高校生・大学生層）」たちが書いたアンケートを元に、信仰の喜びを次代へ伝えるために必要なことを考えたいと思います。

●仲間がいる喜び

「わかぎの集い」は、わかぎ（中学生1年生～3年生）を対象にした行事です。思春期を迎え、反抗期でもある年代ですが、同じ世代の仲間が大教会に集うことで、これからお道を通る仲間と出会い、信仰を育む上での貴重な機会となります。

今年の参加者は29名（男12名、女17名）。その内、教会長・在籍者子弟は16名でした。

教会からの勧めで来たものの、本人はあまり乗り気でない、とうケースもたくさんあります。しかし、終了後に子供たちが書いたアンケートには、「最初は行きたくないと思っていたけど、行ってみたらとても楽しくて、いい思い出ができました」（中1男）、「班のメンバーや部屋のメンバーのお

かげで、ちょっとずつ自分が出せるようになりました」（中3男）、「みんなフレンドリーに接してくれてうれしかったです」（中3女）とあり、同じ年、同じ世代の仲間と打ち解けていくうちに、楽しい時間へと変わったことがわかります。

●プログラムの工夫

この集いの大きな目的の一つに「芦津の中での仲間づくり」があります。参加者の中には、人見知りで友達をつくるのが苦手な子もいますが、プログラムが進むにつれて、自然に周囲と打ち解けていくよう、工夫されています。

特に初日は、お互いのことを知るために、ウォーミングアップ、グループタイム、班対抗の室内オリンピックなどが組み込まれ、グループ内でのコミュニケーションを促します。

室内オリンピックは、みんなで協力しながらクリアするゲームも多く、競技ごとに大きな歓声が上がりました。

また、ひのきしんでもおつとめ練習でも、「人と心を合わせる」ことを意識させ、Jr. スタッフや大人のスタッフがその場の雰囲気盛り上げて、スムーズな仲間づくりを促しました。



班員が打ち解けるための室内オリンピック

●楽しむ側から楽しませる側へ

また年齢の近い高校生・大学生層の Jr. スタッフの存在は非常に重要で、わかぎの固い雰囲気をやわらげてくれるだけでなく、いろいろな場面でお手本にもなってくれます。

Jr. スタッフの多くが、以前に「わかぎの集い」に参加した経験のある者で、その時にはわからなかった裏方の工夫や苦勞を感じていました。その中で、「今参加している中学生に、いかに喜んでもらうか」を真剣に考え、Jr. スタッフ同士でもいろいろと話し合い、それを実行しました。

「班の子供たちが日に日に心を開いてくれて、本当にうれしかったです。人見知りの子が他の子と笑顔で話していると、こっちも笑顔になれました」(Jr. スタッフ女)、「喜んでもらおうと、心を配る難しさ。これまで、自分たちもたくさん工夫してもらって、楽しませてもらってたんだなと気が付きました」(Jr. スタッフ女)

少年会を終え、青年会・婦人会の年代になると、「楽しむ側」から、「楽しませる側」へと役割が変わります。「自分の楽しみ、喜び」より、「人が楽しんでいる姿を見て喜ぶこと」「人のために尽くす喜び」を感じることが、将来の「おたすけ人」としての第一歩にもなります。

●次は自分たちが

わかぎのアンケートの中からも、Jr. スタッフに対する感謝の言葉が多く見られました。「どんどん友達が増えたので、うれしかったです。スタッフのみなさん、楽しく話してくれてありがとう」(中1男)、「ひのきしん中もはげましてもらい、とてもうれしかった。来年からはスタッフとして参加したい」(中3女)

わかぎの集いは、わかぎが Jr. スタッフに育ち、Jr. スタッフが大人のスタッフへと育っていく「育成のつながり」を作り、信仰の喜びを次代へ伝えていく行事でもあるのです。



ウォーミングアップの様子



わかぎと Jr. スタッフが一緒に盛り上がる



女鳴り物は個別に指導



全員でおつとめを合わせる練習

▶▶▶ Jr. スタッフの感想文から ◀◀◀

山下あかね（芦山部分教会）

私は今回、初めてわかぎのスタッフとして参加しました。初めてのスタッフで緊張しましたが、たくさんのことを学びました。

今までは楽しませてもらう側でしたが、今回はみんなが喜んでもらうために、スタッフみんながいろいろと企画やスケジュールを考えてくださり、夜遅くまでミーティングをしていました。こうしてみんなが楽しく過ごせるのは、スタッフや世話係の先生方が一生懸命してくださるおかげだということを、改めて感じることができました。

また次回も参加したいと思います！



山本太陽（白地分教会）

昨年は参加者でしたが、今回は Jr. スタッフとして思い出を作ってあげる側になりました。中学生たちに少しでも近づけるよう、参加者のみんなに気を配って、一人ひとりの目線になるのは大変でした。

去年参加したときは、プログラムの時間通りにゲームやアトラクションが始まったのですが、そのゲームやアトラクションをするために、考えてくれる人、Jr. スタッフに教えてくれる人など、たくさんの人が一つの事を成功させるために関わっているのを見て、当たり前のようにゲームやアトラクションをしているのも、多くの人の支えがあってこそなんだと、肌で感じることができました。

「春の学生おちばがえり」から参加して、とても密度の濃い時間を過ごすことができました。班付スタッフとして経験したことを活かして、学生会の活動や、青年会員として、今後の求道につなげていきたいと思います。

現在は、人材育成を強くお促しいただきますが、中高生に対しての関わりはなかなか難しくもあります。小学生までは親の声を素直に受け、少年会行事に参加していた子が、中学生になり、お道の関わりから離れてしまうケースも少なくありません。そんな多感な時期の若年層をお道につなぎたいとの思いから始まった「わかぎ」に対しての行事は、最初の立ち上げから15年以上経ちました。

「わかぎの集い」では、参加してくれた中学生同士が、同じ芦津の道につながる仲間として絆を深め、2泊3日の期間を楽しんでもらえるよう、準備・企画をしています。そして、直接世話取りにあたる Jr. スタッフが参加者の笑顔を引き出そうと努める中、楽しませる側として大切なことに気づき、成長していく姿も見られます。

参加者のアンケートには、Jr. スタッフに対する

感謝や、「自分も Jr. スタッフをしてみたい」との憧れが書かれています。これは Jr. スタッフが中学生たちを喜ばせようと、心を込めて世話取りしてくれている証であり、この子たちにしかできない「おたすけ」だと、頼もしく感じます。

時が流れ、今では第1回目の参加者が企画や司会など、中心的な役割を務めてくれるようになりました。こうした人材が育ち、将来の芦津やそれぞれの教会の核となって活躍してくれることを期待せずにはおれません。

大教会という親元で共に過ごす中で、中学生、高校生、大学生、そしてわれわれ大人も大切なことに気づき、成長できる「わかぎの集い」。若年層育成の一助として大いにご活用いただきたいと思います。

（育成部次長・西本義之）

②春の学生おちばがえり / 少年会総会

春の学生おちばがえり 3月28日 於・本部中庭

毎年本部中庭で開催される「春の学生おちばがえり」。芦津学生会は、毎年直属隊を編成し、直属アワーで多くの仲間ができるよう企画運営を行います。今年の参加者は 43 名。式典の後、芦津につながる学生たちが一堂に会し、大教会長様よりお話を頂きました。普段なかなか会えない者同士、短い時間でしたが楽しい時間を過ごし、お道の仲間との絆を深めました。



第49回少年会芦津団総会 3月31日 於・大教会

今年 49 回目を迎える少年会総会には、少年会員、育成会員を合わせて 900 名を超える参加者が集まりました。おつとめ衣に身を包んだ子供たちが一生懸命おつとめを勤める姿は頼もしく、嬉しいものです。式典では、大教会長様よりお話を頂き、中学3年生が門出の言葉を述べました。また楽しいアトラクションも盛りだくさんで、子供たちにとって楽しい一日となりました。



5月23日(木)

学生層育成者講習会

学 担

- 場所 芦津大教会
5月月次祭 神殿講話
- 講師 本部学生担当委員会委員
中山昭悦先生
- 趣旨 教会内の育成体制の強化を図り、学生一人ひとりへの幅広い声かけを目指す
- 対象 教会長夫妻、各部各会担当者、学生層育成に携わる方

6月23日(日)

縦の伝道講習会

少年会

- 場所 芦津大教会
6月月次祭 神殿講話
- 講師 少年会本部委員 岡本宗介先生
- 趣旨 縦の伝道の理念と少年会活動の意義、活動方針の徹底を図る
- 受講対象 各隊育成会長、育成会員

4月28日(日)

第6回少年会ドッジボール大会

少年会

- 場所 天理大学第1体育館
- 申込締切 4月20日
- 1チーム8名以上（小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学生の部の3部門）
※合同チームもありますので、8名に満たない場合でもお申し込みください。



青年会芦津分会 結成 100 周年記念総会

4月21日(日) 午前10時開会

— 桝井功能青年会本部副委員長 ご来会 —

昨年、天理教青年会は100周年を迎えました。
今年は、「世界たすけへの挑戦」を基本方針に掲げ、世界中の人々にこの教えを伝え、心をたすけることを目指しています。
芦津分会はこの旬に、井筒敏成新委員長を芯に、新たな一歩を踏み出します。

- 場所：芦津大教会
- 内容：おつとめ、式典、直会



①わかぎの集い ②春の学生おぢばがえり / 少年会総会

あしっ

育成だより

10

立教 182 年 4 月 16 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部